

【京都市】ふるさと納税型クラウドファンディング

iPS細胞技術を あたりまえの医療に

2024年

受付期間 10月 1日 (火)
～12月31日 (火)

プロジェクトページ

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/3188>



目標 2,200 万円



治らない病気を1つでも減らしたい

そんな思いで、京都市では（公財）京都大学iPS細胞研究財団への寄付、そしてiPS細胞技術をはじめとする再生医療等の研究開発への支援を目的に、令和2年度から本プロジェクトを立ち上げました。

iPS細胞技術をはじめとする再生医療は、失われた身体機能の回復だけでなく、死亡要因の大きな割合を占めるがんや、治療法の確立されていない難病の治療にも大きな期待が寄せられています。

再生医療技術を「あたりまえの医療」とするためには、安全性や費用面をはじめ乗り越えるべきいくつもの課題があり、更なる研究開発が欠かせません。

難病やけがに苦しむ世界中の人々の光となる本取組に、どうぞ皆様のお力をお貸しください。

寄付金の使い道

- 01 (公財) 京都大学iPS細胞研究財団への寄付
- 02 企業や大学で再生医療等を研究する研究者への支援

※ 目標金額の達成に関わらず、寄付金から事務手数料を除いた金額のうち、半額ずつ上記の目的に活用します。

※ 本プロジェクトは返礼品のないふるさと納税です。

京都市より

再生医療技術等の進化は、病気や怪我に苦しむ人々の大きな希望になります。本市としても、この素晴らしい人類の英知を多くの方々が享受できるよう、研究開発を後押ししてまいります。皆様からの御支援が、研究の推進や、新たな治療法の開発につながります。私たちと共に輝く未来を切り拓いていきましょう。温かい御支援を心からお願い申し上げます。

京都市長 松井孝治

iPS財団より

今年も寄付先の一つとして当財団へご支援を賜りますこと、深く感謝申し上げます。iPS細胞を患者さんに届けるためには様々な技術開発と莫大な費用が必要で、実用化までには多くのハードルを乗り越える必要があります。お寄せいただくご寄付を大切に活用させていただき、協力機関の皆様と一丸となって実用化に向けた歩みを進めてまいります。

理事長 山中伸弥

お問い合わせ先

京都市 産業観光局 産業イノベーション推進室

TEL：075-222-3324

メール：sanshin@city.kyoto.lg.jp

住所：京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

受付時間：平日 8:45 - 17:30（年末年始を除く）

ふるさと納税で
再生医療技術などの
研究開発を応援しませんか？



寄付金の使い道

01 (公財) 京都大学iPS細胞研究財団への寄付

iPS財団では移植用細胞の原料となる医療用のiPS細胞を製造し、実用化に向けた研究開発を行う世界中の企業や研究機関へ良心的な価格でiPS細胞を提供しています。良質なiPS細胞を安定的に供給し続けることで、iPS細胞の実用化に向けた研究の後押しにつながります。

現在の進捗状況

iPS財団がiPS細胞ストック(※)や技術をスムーズに提供していくことで、再生医療の裾野は広がり、技術の実用化に向けて着実に前進を続けています。

※ iPS細胞ストック：iPS財団であらかじめ製造・品質保証して冷凍保存している、医療用のiPS細胞

近年は、大学や研究機関、企業主体での実用化に向けた臨床試験も増加しており、実用に向けての有効性が見えてきた疾病もあります。その他にも、iPS財団からiPS細胞ストックを提供された各研究機関・企業で様々な臨床研究・治験が計画・実施されています。

2024年現在、iPS細胞の臨床研究・治験が日本中の研究機関で進められています

進捗している疾患の一例

- パーキンソン病**
2018年京都大学が医師主導治験開始
2024年大手製薬企業が米国で治験開始
- 心不全(虚血性心疾患)**
2025年の薬事承認を目指しベンチャー企業が治験実施
- 網膜色素上皮裂孔**
2028年度の薬事承認を目指し
大手製薬企業・ベンチャー企業が治験実施

©公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団

【my iPSプロジェクト】

iPS細胞技術のさらなる普及を目指し、my iPSプロジェクトと題した技術開発の取り組みも行っています。iPS細胞を自動で培養する方法の研究開発など、様々な研究機関や企業と協力し、医療用のiPS細胞を短期間・低コストで提供することを目標としています。

2025年には大阪市内に施設を設置し、さらに活動を展開していく予定です。

02 企業や大学研究者による再生医療をはじめとした研究開発への支援

京都市では、市内の大学研究者及び中小企業者に対して、新たな医療機器や医薬品等の革新的な医療技術に関する研究開発に助成する「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」に取り組んでおり、寄付金の一部を本助成事業に活用しております。

令和6年度は、再生医療技術を活用した研究開発等、13件の革新的な医療技術の研究開発に対して支援を行っております。

【受付期間】

2024年

10月 1日 (火)

～12月 31日 (火)

ふるさと納税を活用した
iPS細胞等の研究開発へ
のご寄付はこちらから

